



【しろがね特別支援学校のセンター的機能】

専門アドバイザーの仕事を紹介します



行動が遅くて集団での活動に遅れがちな年少児のA君の担任の先生に対して、次の提案をしました。

A君は好きなことが限られていて、興味がないことには促されても取り組もうとしないことが多いとの相談を受けました。具体的には、A君が自由遊びを終えて入室した時には、他児は帽子やジャンバーをロッカーに片付け、トイレ、手洗いを済ませ、お始まり（朝の会）のために着席しているような状態でした。

そこで、自由遊びの終了時間を「時計の針が8」とはっきり決め、トイレ・手洗いが終わって椅子に座った子どもたちに対して、「時計の針が10」になったら「虫の質問コーナー」を始めることにしました。そして、終了の合図がかかる直前には、A君に1問だけ虫の問題を教えるなど、行動を促す言葉かけをしました。また、毎日「虫の質問」では飽きてしまうので、怪獣の音楽をかけて踊るなど、A君の好きな活動を日替わりで取り入れ、新奇性をもたせるように工夫しました。

すると、自由遊びから切り替えて、時間内に椅子に座るA君の姿がたくさん見られるようになりました。

同じような相談でも、子どもに依りて対応は異なってきます。同じく年少児のBさんは行動自体は早いのですが、注意力が弱く、周りの刺激に反応しやすいところがあります。また、常に違った動線で行動が自動化されていないことが分かりました。

そこで、帽子とジャンバーを入れる箱を用意し、隣にコップを置いて、動線を短くする工夫をしました。さらに、うがいまで終わったら、Bさんのノートに大好きなシールをはることにしました。また、トイレを待っている間に他のことに興味を持ってしまうため、Bさん専用のスリッパを決め、待ち時間をなくしました。

Bさんの褒められる場面が増えたことは予想通りだと思います。

先生方の工夫が子どもの成長につながった良い事例だと思います。

校内研修等での講演会（講師）の結果

6月11日	高校入試に関するケース会議 講師	渋川市内中学校
6月17日	「自閉症スペクトラム児の指導について」講師	前橋市内小学校
6月24日	「通常学級に在籍する気になる子への 指導・支援について」講師	渋川市内小学校
7月22日	「特別な支援を必要とする児童がいる通常学級での 指導・支援」講師	前橋市内小学校
9月 3日	「行動につまづきのある子と一緒のクラス経営」講 師	前橋市保育士会
10月21日	60分ケース会議 指導助言	玉村町内小学校
11月21日	60分ケース会議 指導助言	玉村町内小学校
11月25日	60分ケース会議 指導助言	渋川市内小学校
12月16日	60分ケース会議 指導助言	玉村町内小学校
1月20日	60分ケース会議 指導助言	渋川市内小学校

相談依頼の件数（外部支援）4～2月の結果

対象	幼稚園 保育園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
件数	272件	221件	41件	13件	5件	552件

（その他は関係機関からの相談および研修の講師依頼）

日頃から、本校のセンター的機能の御理解と御協力をありがとうございます。
障害の有無にかかわらず、子どもの実態把握・指導内容・指導方法について
悩んでいることがありましたら、お気軽に御相談ください。お待ちしております。



群馬県立しrogane特別支援学校
担 当：専門アドバイザー 尾岸 純子
電 話：027-268-6111
FAX：027-268-6113
メール：shirogane-snes01@edu-g.gsn.ed.jp